

授 業 科 目 名		必修区分	単位数	開 講 年 次
環境宗教学特論		選択必修	2	1-2
講 師 名	所 属	オフィスアワー・場所		連 絡 先
岡田真美子	環境人間学研究科	メール予約・E303		okada-hisyo@shse.u-hyogo.ac.jp
講義目的	深く有効性の高い政策提言のために日本的知的資産を学ぶことは不可欠である。本稿では日本的知的資産を活かした、人と環境の関係性再構築のソフトテクノロジー研究をおこない、地域創造のために有効な戦略を探求する。			
講義内容 授業計画	テーマ：日本型地域ネットワーク 地域マネジメントに関する日本的知的資産(2-5 講) 宗教哲学による地域ネットワーク構造の解明 (6-8 講)、日本型のもつユニバーサル性の検討 (9-12 講) を通して、日本的知見を活かした新しいコミュニティ創出を考究する。			
	1	10/05	プロローグ ワークショップ：わたしと宗教	
	2	10/12	結縁ー越境するネットワーク	
	3	10/19	講一看取・葬送の地域ネットワーク	
	4	10/26	手掘りの地域自治と神社起し	
	5	11/02	一味神水と日本型民主主義	
	6	11/16	神と水のネットワーク	
	7	11/30	地域 SNS と華厳哲学)	
	8	12/07	日本の生命ネットワーク論：国土成仏論)	
	9	12/14	和のこころ ー松立て神事	
	10	12/21	正しいことと善いこと：環境正義と環境倫理	
	11	01/11	環境の豊かさを求めて：知足と脱開発論	
	12	01/18	地域創造のために：山ほめと山見分け	
	13	01/25	エピローグ：ワークショップ	
	14		試験は行わずレポート提出	
テキスト 参考文献	『地域をはぐくむネットワーク』(昭和堂 2006.12)			
成績評価 の基準	講義のテーマからひとつを選んで書かれた研究レポートと講義出席状況によって評価する。 レポート提出期限 2月1日(金)12.00 提出先：F301 高石理香子さんに手渡し。 フェイスシートは1月に配布するので、必ずこれを表紙につけること 分量 A4(40字×40行)3枚以内 図版とも。			
履修上の 注意 履修要件	環境宗教学を履修していることが望ましいが、していない場合も履修は可能なように配慮する。			
備 考				